

製品安全データシート (MSDS)

1 製品及び会社情報

製品名 : PRM-9μ-#1200-S4
 会社名 : コスモステクノ・コーポレーション株式会社
 住所 : 千葉県東金市小沼田1338-2
 担当部門 : ケミカル事業部
 電話番号 : 0475-50-0830
 FAX番号 : 0475-52-5571
 奨励用途及び使用上の制限 : 水性研磨液
 作成日 : 2005年8月10日
 改訂版数 : 第3版(2012.1.31)

2 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体 : 区分外
 急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 区分外
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分外
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分外
 呼吸器感作性物質 : 区分外
 生殖細胞変異原性 : 区分外
 発がん性 : 区分外
 生殖毒性 : 区分外
 特定標的臓器毒性(単回) : 区分外
 特定標的臓器毒性(反復) : 区分外
 呼吸器感作性 : 分類できない
 水性環境有害性(急性) : 区分外
 水性環境有害性(慢性) : 区分外

※記載のないものは分類対象外又は分類できない。

GHSラベル要素

シンボル : なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

該当情報なし

3 組成、成分情報

単一製品・混合製品の特定 : 混合物

成分
プロピレングリコール
工業用ダイヤモンド
増粘剤
水

4 応急処置

大量に吸入した場合

- ・ 毒性はほとんどないが、気分が悪くなったりした場合は、下記のような処置を行う。
- ・ 吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・ 眠気やめまいの症状が出た場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態で休息させる。

皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところを良く洗うこと。
- ・ 直ちに、汚染された衣類を全て取り除くこと。皮膚を流水で洗う。
- ・ 皮膚刺激又は手荒れや発疹・水泡等が生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。

眼に入った場合

- ・ 清浄な水で最低15分間眼を洗浄する。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がいきわたるように洗浄する。
- ・ コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・ 眼に入った又は眼に入った懸念がある場合、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 子供等が飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 無理に吐かせないこと。
- ・ 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはいけない。

最も重要な兆候および症状

- ・ 特に無し

応急措置をする者の保護

- ・ 特に無し

医師に対する特別注意事項

- ・ 特に無し

5 火災時の措置

消火剤

- ・ 霧状水、二酸化炭素、粉末

使ってはならない消火剤

- ・ 特になし

火災時の特有の危険有害性

- ・ 特になし

特有の消火方法

- ・ 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用する。可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護

- ・ 保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・ 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・ 漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立入りを禁止する。
- ・ 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しない様にする。
- ・ 風上から作業し、風上の人を退避させる。
- ・ こぼれた場合はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

- ・ 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。

回収、中和

- ・ 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
- ・ 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できるから容器に回収する。
- ・ 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止、安全な場所に導いてから処理する。
- ・ アルカリ性の製品なので、必要があれば酸(希塩酸、希硫酸等)で中和する。
- ・ 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・ 漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7 取扱い上の注意

取扱い

技術的対策

- ・ 取扱いの近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- ・ 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

適切な保管条件

- ・ 火気厳禁

安全な容器包装材料

- ・ 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8 暴露防止および保護措置

設備対策

- ・ 蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・ 屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

管理濃度・許容濃度

ともに規定なし

保護具

呼吸器の保護具

- ・ 保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

- ・ 保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋を着用すること。
- ・ 必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

眼の保護具

- ・ 保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

9 物理的および化学的性質

外観	: 一
臭い	: 特になし
pH	: 5.5～7.5
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度(発火点)	: 非該当
燃焼性(固体、ガス)	: 非該当
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 非該当
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重(相対密度)	: データなし
溶解性	: 水に溶解する。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10 安定性および反応性

反応性

化学的安定性

- ・ 通常の実験においては安定である。

危険有害反応性の可能性

- ・ 特になし

避けるべき条件

- ・ 加熱・熱源・裸火。

混触危険性物質

- ・ 酸性物質

危険有害な分解生成物

- ・ 特になし

その他

- ・ 特になし

11 有害性情報

個々の成分の有害性情報

特筆すべき有害な情報はないが、長時間にわたる皮膚への接触はかぶれの原因となることがある。

急性毒性	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分外
呼吸器又は皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器毒性(単回)	: 区分外
特定標的臓器毒性(反復)	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

12 環境影響情報

水性環境有害性

: 区分外

13 廃棄上の注意

- ・ 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14 輸送上の注意

国際規則

海上規制情報	: IMOの規定に従う。
UN NO.	: Not applicable
Proper Shipping Name	: -
Class	: -
Packing Group	: -
Marine Pollutant	: Not applicable
航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
UN NO.	: Not applicable
Proper Shipping Name	: -
Class	: -
Packing Group	: -

国内規則

陸上規制情報	: 消防法の規定に従う。
容器イエローラベル指針番号	: -
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
国連番号	: 非該当
品名	: -
クラス	: -
容器等級	: -

海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
国連番号	: 非該当
品名	: -
クラス	: -
等級	: -
輸送の特定の安全対策および条件	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 ・ 荷崩れ防止を確実にを行う。 ・ 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。 ・ 直射日光を避ける。 ・ 水漏れ厳禁。 ・ 横積み厳禁。 ・ 夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。 ・ 輸送容器は衝撃を与えない様に、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15 適用法令

消防法

- ・ 非該当

毒物および劇物取締法(毒劇物取締法)

非該当

労働安全衛生法

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

非該当

海洋汚染防止法

非該当

下水道法

非該当

航空法

非該当

船舶安全法、危険物船舶輸送及び貯蔵規則

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

非該当

16 原産国

日本

17 その他の情報

参考文献

- ・ JIS Z 7250/2005『化学物質等安全データシート 第一部』 日本規格協会
- ・ 『化学品尾分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂2版』国際連合
- ・ 『化学物質等法規制便覧 2007年版』 化学工業日報社
- ・ プロピレングリコールMSDS

※ 製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱い事業所に提供されるものです。取扱う事業所は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。